

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第20号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 1月1日付 国際・地域連携センター 国際交流課 新設

平成24年は当センターの活動に格別のご支援を賜り誠にありがとうございました。平成25年も何卒よろしくお願い申し上げます。

国際・地域連携センターは以下の4部門が連携して地域の発展ひいては国際社会への貢献を果たしてきました。

- 地域連携・再生部門
- 産学官連携部門
- 知的財産部門
- 国際連携部門

4部門にはそれぞれ係が設置されており、各部門の活動をサポートしておりました。各係は地域連携課に属しておりましたが、平成25年1月1日より、地域連携業務および国際連携業務を更に深化・発展させるため、新たに国際交流課が新設されました。

平成25年も新たな体制のもと、国際・地域連携センターの活動により一層のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 全国各地の地域再生事業実務者が集結

Topic2. 歴史とメダカの里・日高村

p3 産学官連携部門

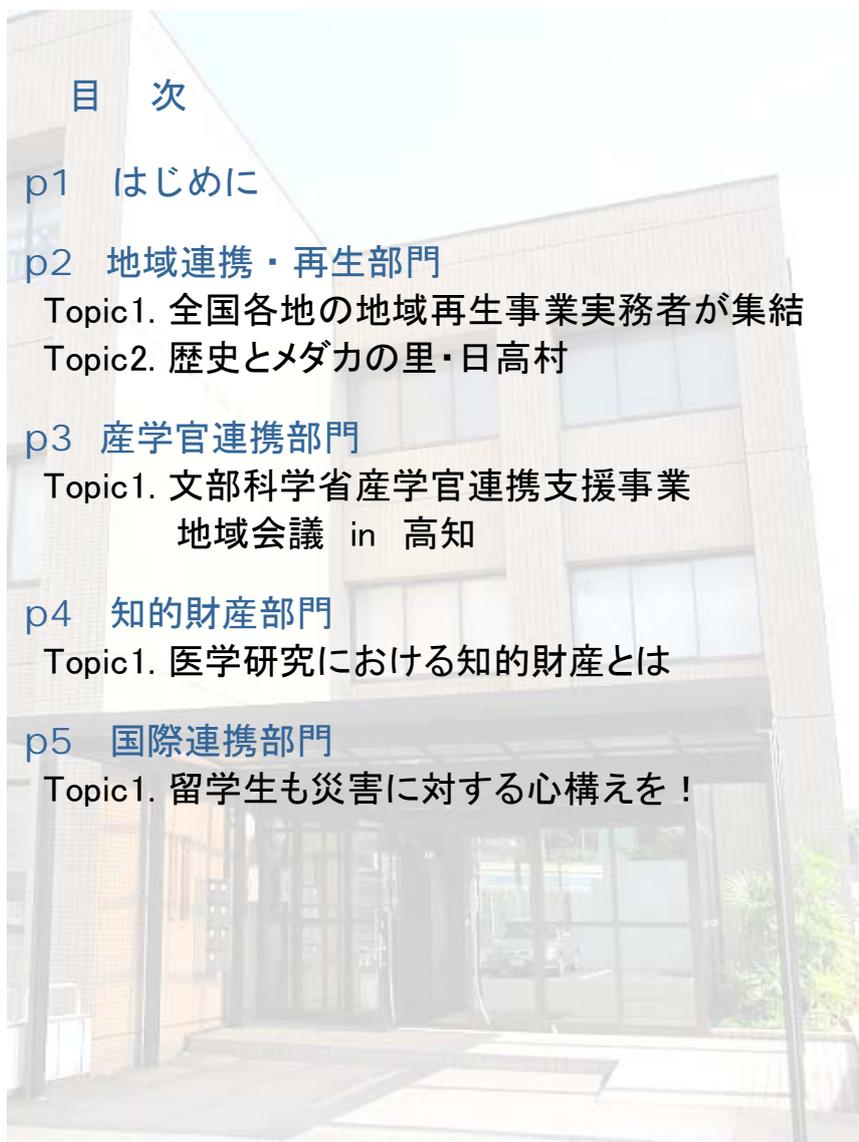
Topic1. 文部科学省産学官連携支援事業  
地域会議 in 高知

p4 知的財産部門

Topic1. 医学研究における知的財産とは

p5 国際連携部門

Topic1. 留学生も災害に対する心構えを！



## Topic 1. 全国各地の地域再生事業実務者が集結 ～地域再生プログラム実施機関連絡会議 in 飛騨～

平成25年1月10日～12日の3日間、文部科学省が実施する科学技術戦略推進費「地域再生人材創出拠点の形成」の採択機関連絡会議が、岐阜県高山市にて開催されました。高知大学は土佐フードビジネスクリエイター人材創出事業にて採択されているため、本会議に参加、情報交換を行いました。

本事業は、文部科学省からの補助期間である5年が経過した後、各地域にて自力継続することが望まれています。参加大学のうち、補助期間が終了した課題については継続状況が報告されました。また、本事業は地域再生計画を策定した自治体との共同提案型となっているため、各大学の提携自治体との連携内容等についても意見交換されました。



## Topic 2. 歴史とメダカの里・日高村 ～連携に向けた協議実施～

高知県日高村は高知市から西へ約15kmの距離にあり、人口が約5,000人の自治体ですが、国道33号線を使うことで市内へのアクセスが非常に容易な地域です。この日高村において、国際・地域連携センター教職員が2度、視察と連携のための協議を行いました。

1度目は11月19日、地元の方からの紹介により戸梶村長はじめ役場職員の方と意見交換を行いました。2度目は1月15日、村長の案内により村内各所を訪問させていただき、地域の資産ともいべき様々な施設及び取組みを見学しました。

主な訪問場所：渋川トンボ公園、日下川調整池、さんさん市、屋形船、小村神社

（その他視察場所：清水工業団地、沖名工業団地、猿田洞、日高村総合運動公園、霧山茶業組合）

地域の素晴らしい資源が多数見られると同時に、課題も垣間見えた視察となり、今後も役場とともに連携の可能性を検討してまいります。



「渋川トンボ公園」

希少なトンボのミナミヤンマ、特に無斑型が生息する全国的にも珍しい場所としてトンボ愛好家に知られる。



「日下川調整池(別名メダカ池)」

かつて内水氾濫が多発したために、それを防ぐために設けられた調整池。約14haで県下最大級の内陸型湿地。メダカやトンボなど希少な生物が繁殖。

## Topic 1. 文部科学省産学官連携支援事業地域会議 in 高知 ～第2回全国コーディネーター活動ネットワーク中四国会議～

### 「イノベーション創出の更なる発展と夢の架け橋へ」

本会議は、産学官連携の実務者であるコーディネーターによる全国的なネットワークを構築・強化し、各コーディネーターの連携活動を促進させること等を目的として開催されるもので、中国四国地域から約30名の参加がありました。



会議日程：平成25年1月23日(水)、24日(木)

#### 【プログラム(23日)】

- 13:00～13:05 幹事大学代表 挨拶  
受田浩之氏(高知大学 副学長、国際・地域連携センター長)
- 13:05～13:10 本事業概要説明  
前田裕子(全国イノベーション推進機関ネットワーク プロジェクト統括、  
京都府立医科大学 特任教授、早稲田大学 客員教授、本事業実施代表)
- 13:10～13:30 文部科学省施策説明～産学官連携の戦略的展開とコーディネーターへの期待～  
工藤雄之氏(文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課  
大学技術移転推進室長)
- 13:30～13:50 経済産業省施策説明～地域新産業戦略の推進について～  
神宮勉氏(経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ 地域新産業戦略室  
参事官補佐)
- 13:50～14:40 基調講演～産学官連携の実情と今後～  
宮田満氏(株式会社日経BP 特命編集委員)
- 14:40～14:45 質疑応答
- 14:45～15:05 高知大学の産学官連携活動紹介  
吉用武史氏(高知大学 国際・地域連携センター  
地域連携・再生部門長 特任講師)
- 15:15～17:00 事例から覗ける産学官連携の未来  
テーマ1:異分野融合研究  
テーマ2:シーズ実用化



翌24日は、地球環境変動や内部構造さらに地殻内生物圏の研究など、最新の研究、機器が設置されている全国共同利用・共同研究拠点の海洋コア総合研究センターの見学を行いました。



海洋コアセンター見学後の写真

## Topic 1. 医学研究における知的財産とは

### ～医学部学生向け知財セミナー開催～

医学研究における特許の取得・活用のため、知的財産制度の基礎知識を身につけてもらうことを目的として、「医学部学生向け知的財産セミナー 医学研究と知的財産」が1月10日(木)10時30分～12時、岡豊キャンパス講義棟(第4講義室)で開催されました。今回は医学部2年生の授業(臨床試験学)の一環として開催したため、受講者は学生に限られましたが、当日は約110名が受講しました。

株式会社テクノネットワーク四国より、安田 崇 氏(四国 TLO アソシエイト)を講師に迎え、知的財産制度の基礎知識に留まらず、データベースを活用した特許検索(先行技術調査)の方法、特許等をめぐる紛争等の実例を交えたわかりやすい講義は大変好評で、熱心にノートを取り、講義終了後にも個別に質問する受講者の姿が見られました。



## Topic 1. 留学生も災害に対する心構えを！ ～地域の災害対策研修会に留学生が参加～

12月2日(日)、高知地域留学生交流推進会議の地域交流事業の一環として、南国市吾岡山で開催された災害対策研修会に、外国人留学生12名と引率者5名が参加しました。この研修会は、災害時のシミュレーションとして避難訓練、応急処置訓練、炊き出しの実践などを中心に防災意識を高めることを目的に実施されたものです。

研修会は、地域住民も含めた参加者約70名の山への一斉避難から始まり、避難時の身近なものを利用した防災グッズの紹介、参加者によるテントの設営が行われました。また、災害時を想定した炊き出しの実践では、大鍋に入った炊き込みご飯やすいとん汁の前に、牛乳パックで作った皿を手を持った参加者の行列ができました。

さらに、班別での応急処置訓練では、南国市消防署員の指導のもと「出血の際の応急処置」、「がれきの撤去」、「怪我人の搬送」など、災害に遭った時に役立つ実践的な研修が行われました。

参加した留学生にとっても、災害に対する心構えと団体行動の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



搬送訓練



がれきの撤去訓練



応急処置訓練



炊き出しの実践